

インフォシス、クラウドサービスの差別化と大規模案件を原動として 10 年間で最高となる年間成長を達成
2023 年度の収益成長予測範囲は 13%~15%、営業利益予想範囲は 21%~23%

バンガロール (インド) – 2022 年 4 月 13 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) は業績を発表し、売上高 163 億ドル、過去 10 年間で最高となる実質ベースの年間成長率 19.7%増、営業利益率 23.0%と、堅牢な業績を報告しました。成長率は広範囲にわたり、合計契約金額 95 億ドルにのぼる大規模案件が継続的な原動力になりました。EPS はルピー建てで 15.2%増加しました。FCF は通期で 30 億ドルを上回りました。

第 4 四半期の連続した成長は実質ベースで 1.2%、営業利益率は 21.5%でした。第 4 四半期に受注した大規模案件の合計契約金額は 23 億ドルでした。

「インフォシスは 10 年間で最高となる年間成長を達成しました。これはデジタルの深い差別化により推進された広範囲にわたるパフォーマンスと、「ワン・インフォシス」アプローチが可能にする Infosys Cloud 主導型クラウド機能によるものです。当社は引き続き、お客様のデジタル・ジャーニーを成功に導く当社の能力に対する長年の信頼の成果として、市場シェアを獲得してまいります。」と、**最高経営責任者兼取締役の Salil Parekh は述べ**、次のように続けました。「各種産業でデジタル・ディスラプションが加速したことから、変化、適応、繁栄するお客様への関与やパートナーシップ締結に計り知れない可能性があるかとみています。当社は人材の規模をグローバルに拡大し、従業員に対する投資を行い、イノベーションを高速化しデジタル能力を早期に実現して、拡大中の市場機会から利益を獲得してまいります。」

| | | | | |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 前年同期比 38.8% 通期41.2% 実質ベースのデジタル 成長率 | 前年同期比 20.6% 通期19.7% 実質ベースの収益 成長率 | 第4四半期 21.5% 通期23.0% 営業利益率 | 前年同期比 13.4% 通期15.2% EPS の増加 (ルピー建て) | 第4四半期 23億ドル 通期95億ドル 大規模案件合計 契約金額 |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|

2023 年度の予測範囲:

- 収益成長は実質ベースで 13%~15%
- 営業利益率は 21%~23%

1. 財務の主な注目点:

2021 年第 4 四半期

- 実質ベースの売上高は前年同期比 20.6%増、前四半期比 1.2%増
- 報告売上高は 42.8 億ドル、前年比 18.5%増
- デジタル売上高は総売上高の 59.2%、前年比成長率は実質ベースで 38.8%
- 営業利益率は 21.5%、前年比 3.0%減
- 基本 EPS は 0.18 ドル、前年同期比 9.2%増
- フリーキャッシュフローは 7.61 億ドル、前年比 4.8%減
フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 101.0%

2021 年度通期

- 実質ベースの売上高は前年比 19.7%増
- 報告売上高は 16,311 億ドル、前年比 20.3%増
- デジタル売上高は総売上高の 57.0%、前年比成長率は実質ベースで 41.2%
- 営業利益率は 23.0%前年比 1.5%減
- 基本 EPS は\$0.70 ドル、前年同期比 14.3%増
- フリーキャッシュフローは 30.55 億ドル、前年比 2.8%増、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 102.9%

「供給サイドの非常に厳しい課題がある年でしたが、インフォシスは EPS15.2%増、フリーキャッシュフロー30 億ドル超え、自己資本利益率 29.1%という力強い財務パフォーマンスを達成しました。これは顧客中心主義と豊富な能力がもたらした当社の成功を反映するものです。2022 年度について、取締役会は 1 株あたり 16 ルピーの最終配当を提言しました。これにより 2022 年度の配当総額は 1 株あたり 31 ルピーとなり、前年から 14.8%増加しました」と、**最高財務責任者の Nilanjan Roy は述べ**、次のように続けました。「今後の堅牢な需要環境に伴い、当社はセールス、デリバリー、イノベーションの能力構築に向けた適切な長期投資を行うことを検討しています。ただし、サービスとブランドの差別化による、積極的なコスト最適化プログラムと価値主導型の価格設定を推進し、これを通じて影響の一部を相殺する計画です。このことは、パンデミック後の支出の正常化とともに、利益予想に反映されています。」

2. 資本配分

2022 年度について、取締役会は 1 株あたり 16 ルピー (1ADS あたり 0.21 ドル*) の最終配当を提言しました。1 株あたり 15 ルピーの中間配当と併せ、2022 年度の配当総額は 31 ルピー (1ADS あたり約 0.41 ドル*) となり、2021 年度から 14.8%増加しました。これにより、当社が発表した 2022 年度の配当総額は 1300 億ルピー (約 17.4 億ドル*) となります。

*為替レート 1 米国ドル=75.00 インドルピー

3. 顧客の獲得と証言

- インフォシスは、Infosys Living Labs に欠かせない要素であり、企業の仮想-物理間の相互接続の戦略の進化と実行を加速する Infosys Metaverse Foundry を発売しました。**コマツのグローバル IT アプリケーションおよびデジタル変革部門長である Daniel Schumacher 氏**は次のように述べています。「当社は戦略的展望と変革ロードマップにおいてデジタルエコシステムを急加速させることを目指しており、既存の側面と将来に向けて創造できる部分を含む事業の多方面に価値をもたらしたいと考えています。Infosys Metaverse Foundry と連携し、仮想世界のどの部分に一番投資すべきかを明らかにしてそこに種をまき、将来それが実を結ぶのを楽しみにしています。」
- インフォシスは E.ON と連携して多数のサービス分野のデジタルワークプレイス変革を行いました。**E.ON のユーザーサービス長である David Benkelberg 氏**は次のように述べています。「当社はワークプレイス変革過程全体を通じて、革新的で未来志向のパートナーを探していました。インフォシスを当社のデジタルワークプレイス変革のパートナーとして迎え、12 カ国 7 万 5000 人超のユーザーの職場のニーズをサポートできることを嬉しく思います。連携は IT サービスデスクやエンドユーザー機器、コミュニケーションと連携の融合、IT サービス管理などに及び、インフォシスは当社の他のイニシアチブの戦略変革パートナーの役割も担っています。この連携が現在進行形のデジタル変革ジャーニーの成功に大きく貢献するものと信じています。」
- インフォシスは Telenor Norway と連携して、標準化された Oracle Cloud ERP ソリューションを用いた財務およびサプライチェーン業務の変革を行いました。**Telenor Norway の最高財務責任者 (CFO) である Terje Borge 氏**は次のように述べています。「Telenor Norway は消費者や法人のお客様にとって信頼できるデジタルパートナーとなるために、絶えず業務水準を向上させる必要があります。これを実現するツールとして、IT の役割は非常に重要です。ERP 変革プログラムは当社の俊敏性と効率を高める一つのステップです。」
- Infosys Finacle は Union Bank of India の WhatsApp バンキングを実現しました。この新たなサービスは Union Virtual Connect (UVConn) と呼ばれ、パーソナライズされた日々の銀行サービスを顧客に提供するものです。**Union Bank of India の頭取で最高経営責任者 (CEO) である Shri Rajkiran Rai G 氏**は次のように述べています。「当行はかねてから、シンプルで素早く、状況に適した、より利便性の高いバンキングソリューションや体験を提供することで、お客様と長期の関係を築くことに努めて参りました。このビジョンに基づいて導入したのが世界有数のインスタントメッセージアプリである WhatsApp 上のこのサービスです。当行の個人のお客様は支店を訪れることなく、ご自身で多くのバンキング操作を即時に、且つ安全に実行することが可能です。Finacle Conversational Banking と Remote Banker を用いることで、日常生活で存在感を増すソーシャルメディアをうまく活用することが可能となりました。このシンプルで便利なバンキングの形がお客様の利便性を大幅に高め、今後数カ月以内に素早く受け入れられると期待しています。」
- 50 カ国以上に事業を展開する健康や美容、ウェルネス商品大手の Nu Skin は、次世代ソーシャルコマース企業になるというビジョンの実現のためにインフォシスと連携しています。**Nu Skin の Ryan Napierski 社長兼 CEO** は次のように述べています。「当社は次世代ソーシャルコマース企業への変革でインフォシスと

提携できることを嬉しく思います。ここで鍵を握るのは両社が連携してパーソナライズされた魅力的な顧客ジャーニーを提供することで顧客ロイヤリティを獲得し、当社の成長を加速させることです。」

4. 表彰

- Ethisphere が選ぶ 2022 World's Most Ethical Companies に認定
- 世界の大手ブランド評価会社である Brand Finance の 2022 年 Global 500 レポートで「急成長 IT サービスブランド」に認定
- アジア太平洋、欧州、中東、北米の 22 カ国の中から優れた戦略と人材慣行に贈られる Global Top Employer 2022 に認定
- 最高クラスの人材獲得戦略と人材管理で Brandon Hall Group の Organizational Excellence Certification に認定
- 2022 年にカナダで優れた雇用慣行が評価され、Great Place to Work®に認定
- Stakeholders Empowerment Services (SES)の ESG で最高スコアを取得し、インドの上場企業上位 100 社で 1 位を獲得
- インディアナポリス、バンガロール、マイソール、ティルバナタプーラムの 4 つの建物（総面積 215 万平方フィート）が US Green Building Council の LEED Platinum certification を受賞。
- Everest Group 社の PEAK Matrix® IT Service Provider of the Year で 2 位を獲得
- Gartner 社の Magic Quadrant for Data and Analytics Service Providers でリーダーの評価
- Infosys Finacle の Finacle Core Banking Solution が Gartner 社の Magic Quadrant for Global Retail Core Banking のリーダーに認定
- Everest 社の Cloud Services PEAK Matrix® Assessment 2022 – 北米でリーダーの評価
- HFS の Top 10 Digital Associates Services 2022 でリーダーの評価
- 米国、英国、北欧地域の「Banking Digital Services」ISG Provider Lens™ Study でリーダーの評価
- Everest 社の Cloud Services PEAK Matrix® Assessment 2022 – 欧州でリーダーの評価
- NelsonHall 社の Quality Engineering NEAT 2022 でリーダーの評価
- HFS の Top 10 Energy Transition Services Top 10 Snapshot, 2022 でリーダーの評価
- Avasant 社の Healthcare Payor Digital Services 2022-2023 RadarView™でリーダーの評価

- 「Mainframes Services and Solutions」2022 ISG Provider Lens™でリーダーの評価
- PAC RADAR SAP Services in Germany 2021 でリーダーの評価
- Avasant 社の Multisourcing Service Integration 2021-2022 RadarView™でリーダーの評価
- Everest 社の Digital Product Engineering Services PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーの評価
- HFS の Top 10 Application Modernization Services, 2022 でリーダーの評価
- Everest 社の Oracle Cloud Applications (OCA) Services PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーの評価
- NelsonHall 社の Digital Banking Services NEAT 2022 でリーダーの評価
- HFS の Utilities Services Top 10, 2022 でリーダーの評価
- Everest 社の Advanced Analytics and Insights (AA&I) Services PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーの評価
- HFS の Top 10 Retail and CPG Services, 2022 でリーダーの評価
- 米国「Healthcare Digital Services」ISG Provider Lens™ Study でリーダーの評価
- Infosys Finacle が Everest Group 社の Consumer Loan Origination System Products Peak Matrix Assessment 2022 レポートでリーダーの評価
- Infosys Finacle の Finacle Payments Suite が Finnovex Awards Qatar 2022 の「Excellence in Payments」部門で受賞

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

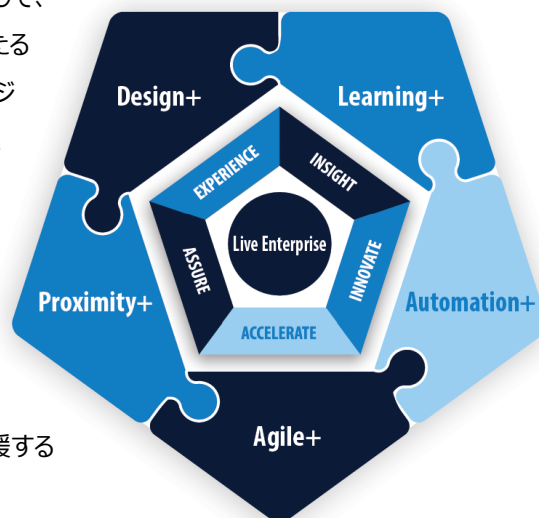
セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

連絡先

インフォシスリミテッド日本オフィス
マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK



インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく連結連結貸借対照表要約 (抜粋)

(100 万ドル)

| | 2022 年 3 月 31 日 | 2021 年 3 月 31 日 |
|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金および現金等価 | 2,305 | 3,380 |
| 短期投資 | 880 | 320 |
| 売掛金 | 2,995 | 2,639 |
| 未請求収益 | 1,526 | 1,030 |
| その他の流動資産 | 1,159 | 938 |
| 流動資産合計 | 8,865 | 8,307 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産および使用権資産 | 2,429 | 2,519 |
| のれんおよびその他無形資産 | 1,042 | 1,115 |
| 非短期投資 | 1,801 | 1,623 |
| 未請求収益 | 124 | 81 |
| その他非流動資産 | 1,294 | 1,180 |
| 非流動資産合計 | 6,690 | 6,518 |
| 資産合計 | 15,555 | 14,825 |
| 負債および資本 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 545 | 362 |
| 前受収益 | 834 | 554 |
| 従業員給付債務 | 288 | 276 |
| その他流動負債 | 2,766 | 2,072 |
| 流動負債合計 | 4,433 | 3,264 |
| 非流動負債 | | |
| リース負債 | 607 | 627 |
| その他非流動負債 | 521 | 432 |
| 非流動負債合計 | 1,128 | 1,059 |
| 負債合計 | 5,561 | 4,323 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 9,941 | 10,442 |
| 非支配持分 | 53 | 60 |
| 資本合計 | 9,994 | 10,502 |
| 負債および資本の合計 | 15,555 | 14,825 |

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約 (抜粋) :

(100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く)

| | 2021 年度第 4 四半期 | 2020 年度第 4 四半期 | 2021 年度 通期 | 2020 年度 通期 |
|--------------|-------------------|-------------------|---------------|---------------|
| 売上収益 | 4,280 | 3,613 | 16,311 | 13,561 |
| 売上原価 | 2,955 | 2,357 | 10,996 | 8,828 |
| 売上総利益 | 1,325 | 1,256 | 5,315 | 4,733 |
| 営業費用: | | | | |

| | 2021 年度第 4 四半期 | 2020 年度第 4 四半期 | 2021 年度 通期 | 2020 年度 通期 |
|---------------------------|-------------------|-------------------|---------------|---------------|
| 販売費 | 179 | 165 | 692 | 624 |
| 管理費 | 226 | 207 | 868 | 784 |
| 営業費用合計 | 405 | 372 | 1,560 | 1,408 |
| 営業利益 | 920 | 884 | 3,755 | 3,325 |
| その他の収益(純額) ⁽³⁾ | 78 | 68 | 281 | 271 |
| 税引前利益 | 998 | 952 | 4,036 | 3,596 |
| 法人所得税費用 | 245 | 255 | 1,068 | 973 |
| 純利益 (少数株主利益調整前) | 753 | 697 | 2,968 | 2,623 |
| 純利益 (少数株主利益調整後) | 752 | 697 | 2,963 | 2,613 |
| 基本 EPS (\$) | 0.18 | 0.16 | 0.70 | 0.62 |
| 希薄化後 EPS (\$) | 0.18 | 0.16 | 0.70 | 0.61 |

注:

1. 上記の情報は、2022年4月13日開催の取締役会で記録された2021年度第4四半期および2021年度通期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他収益には財務費用を含みます。